

## 第4章 特定健康診査・特定保健指導の状況

集計対象世帯員（20歳以上）5,627人のうち、40歳以上75歳未満の3,405人が調査対象

### 1 過去1年間の特定健康診査の受診の有無

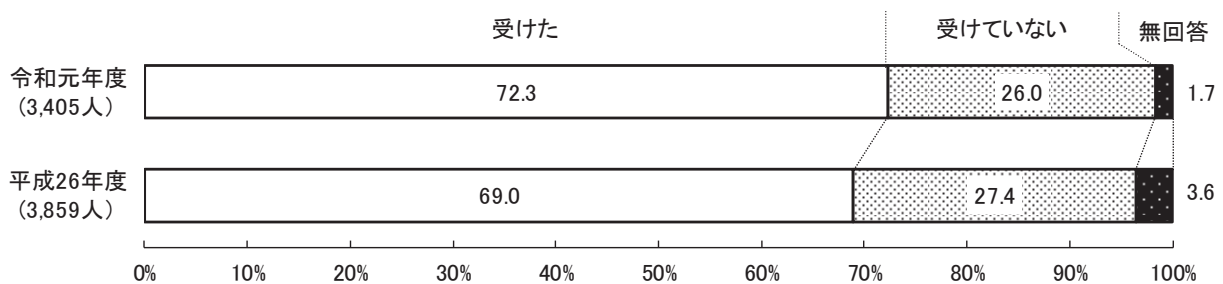
過去1年間に、特定健康診査（※）を受診したか聞いたところ、「受けた」割合が72.3%、「受けていない」が26.0%となっている。（図Ⅱ-4-1）

#### ※ 特定健康診査

医療保険者は、40～74歳の加入者（被保険者及び被扶養者）に対し、特定健康診査（メタボリックシンドロームに着目した検査項目での健康診査）を行うものとされている。ただし、加入者が人間ドック等で特定健康診査に相当する検査を受け、その結果を証明する書面の提出があった場合は、特定健康診査を受けたものとみなされる。

また、加入者が、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）その他の法令に基づき行われる特定健康診査に相当する健康診断を受けた場合又は受けることができる場合は、特定健康診査の全部又は一部を行ったものとする事とされている。

図Ⅱ-4-1 過去1年間の特定健康診査の受診の有無



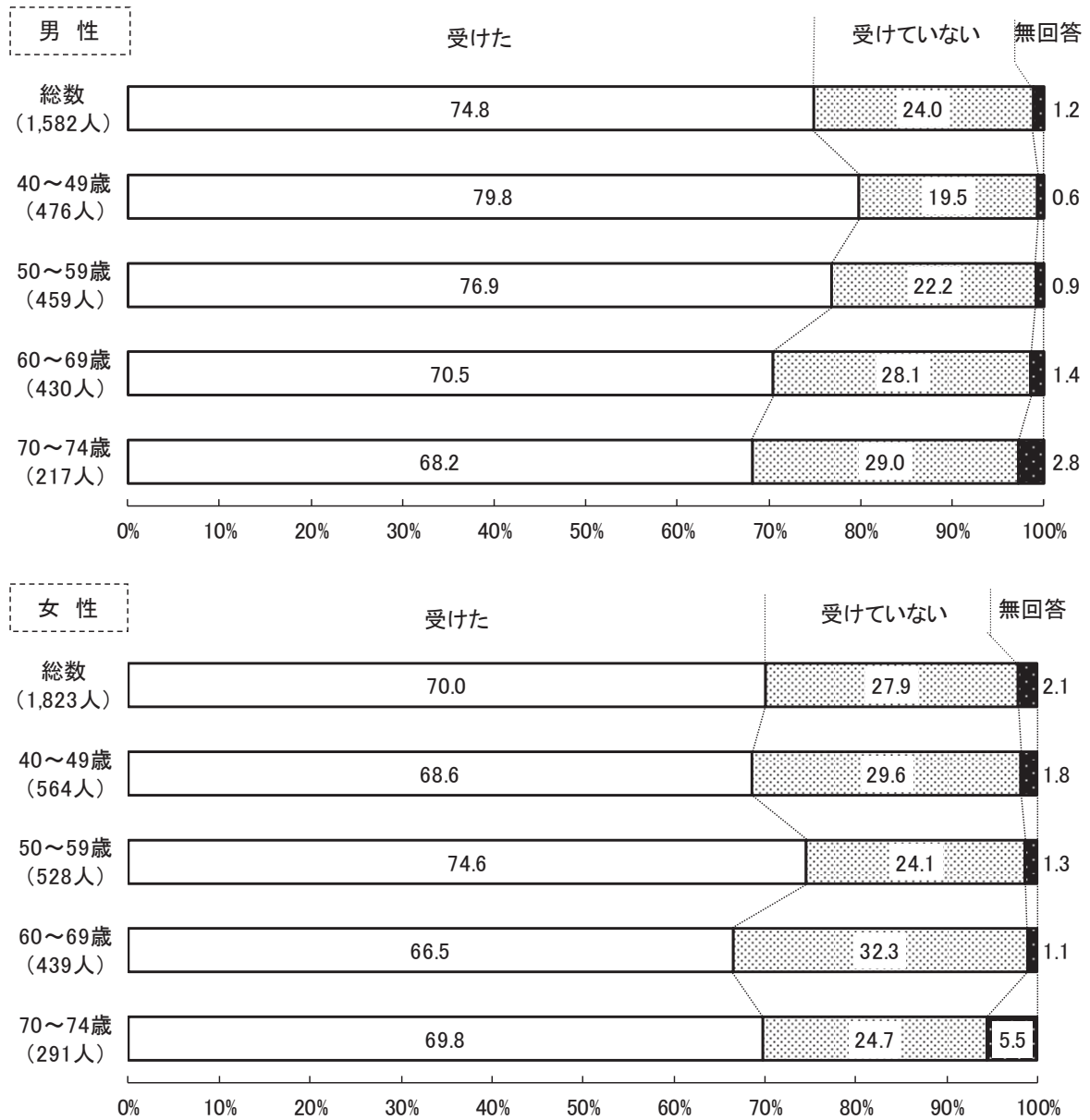
（注）がん検診のみの受診、妊産婦健診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は含まない。

(1) 過去1年間の特定健康診査の受診の有無一性・年齢階級別

特定健康診査を受けた割合は、男性 74.8%、女性 70.0%

過去1年間の特定健康診査の受診の有無を性別で見ると、特定健康診査を「受けた」割合は、男性 74.8%、女性 70.0%となっている。(図Ⅱ-4-2)

図Ⅱ-4-2 過去1年間の特定健康診査の受診の有無一性・年齢階級別



(2) 過去1年間の特定健康診査の受診の有無－就業状況別

主に仕事をしている人では、特定健康診査を受けた割合が約8割

過去1年間の特定健康診査の受診の有無を就業状況別にみると、特定健康診査を「受けた」割合は、主に仕事をしている人では79.9%となっている。(表Ⅱ-4-1)

表Ⅱ-4-1 過去1年間の特定健康診査の受診の有無－就業状況別

	総 数	受 け た	受 け て い な い	無 回 答
総数	100.0 (3,405)	72.3	26.0	1.7
労働力人口	100.0 (2,451)	77.8	21.3	0.9
就業者	100.0 (2,430)	78.3	20.8	0.9
主に仕事	100.0 (1,957)	<u>79.9</u>	19.1	1.1
家事などのかたわらに仕事	100.0 (437)	72.1	27.7	0.2
その他	100.0 (29)	65.5	34.5	-
仕事を探していた	100.0 (21)	28.6	71.4	-
非労働力人口	100.0 (904)	58.2	38.2	3.7
家事専業	100.0 (386)	56.5	40.2	3.4
働いていない (幼児・高齢・病気等)	100.0 (512)	59.2	36.9	3.9
平成26年度	100.0 (3,859)	69.0	27.4	3.6

(注1) 就業者のうち、「通学のかたわらに仕事」は母数が7人のため省略した。

(注2) 非労働力人口のうち、「通学のみ」は母数が6人のため省略した。

(3) 過去1年間の特定健康診査の受診の有無－医療保険の種類別

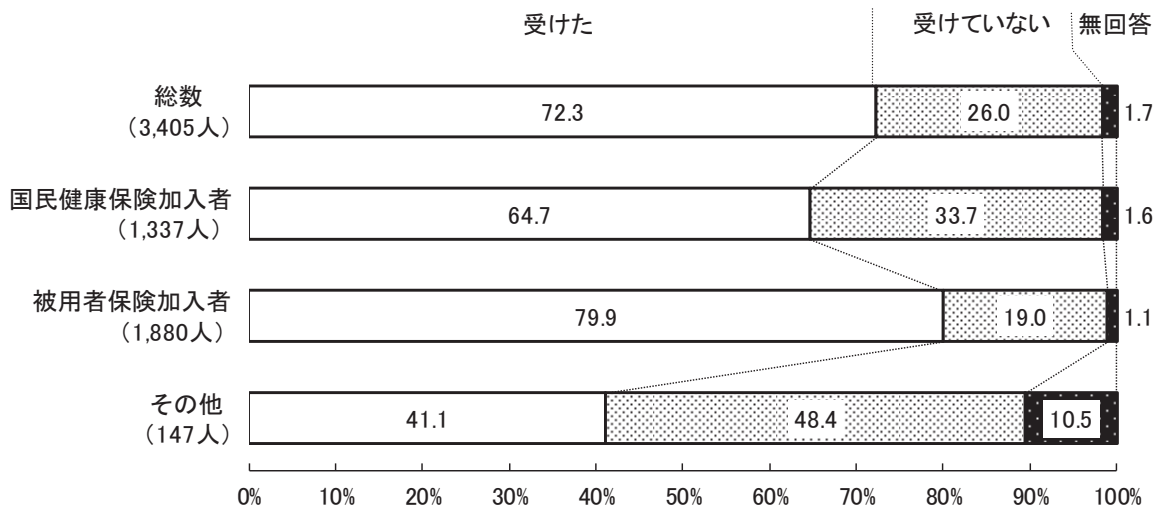
特定健康診査を受けた割合は、国民健康保険加入者では64.7%、被用者保険加入者では79.9%

過去1年間の特定健康診査の受診の有無を医療保険の種類別にみると、特定健康診査を「受けた」割合は、国民健康保険加入者では64.7%、被用者保険加入者では79.9%となっている。

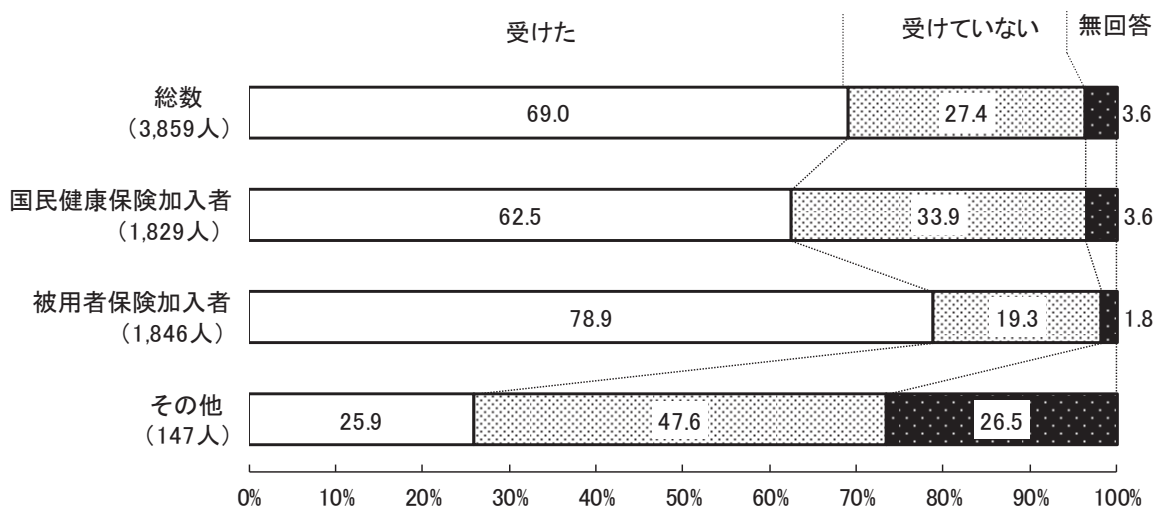
(図Ⅱ-4-3)

図Ⅱ-4-3 過去1年間の特定健康診査の受診の有無－医療保険の種類別

令和元年度



平成26年度

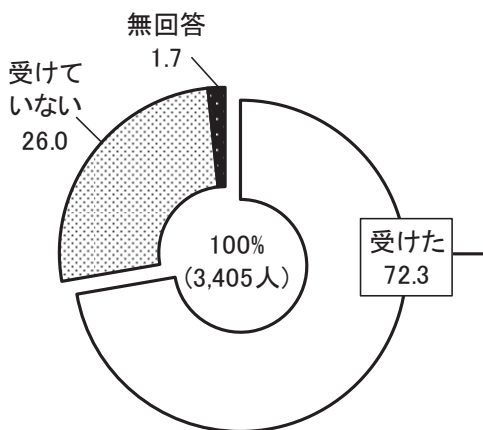


(注) 加入している医療保険の種類を「協会けんぽ」、「組合健保」、「共済組合」、「船員保険」と回答した人を、「被用者保険加入者」として集計した。

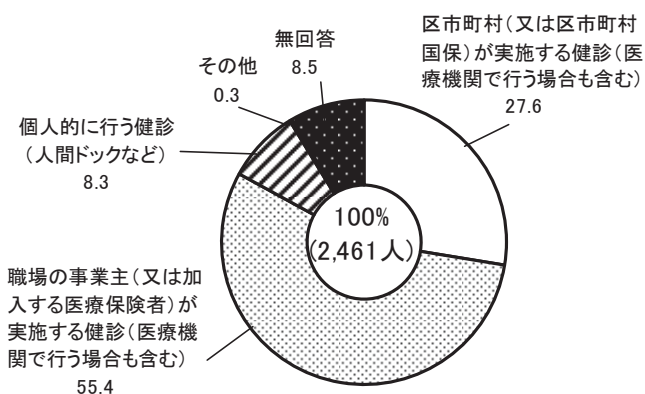
## 2 特定健康診査の種類、方法、時期

過去1年間に特定健康診査を受けた人(2,461人)に、特定健康診査の種類、方法、時期を聞いたところ、種類については、「職場の事業主(又は加入する医療保険者)が実施する健診(医療機関で行う場合も含む)」の割合が55.4%、方法については、「個別健診(医療機関や健診機関等で個別に受ける健診)」の割合が49.5%、時期については、「平日昼間」の割合が82.3%となっている。(図Ⅱ-4-4、図Ⅱ-4-5、図Ⅱ-4-6、図Ⅱ-4-7)

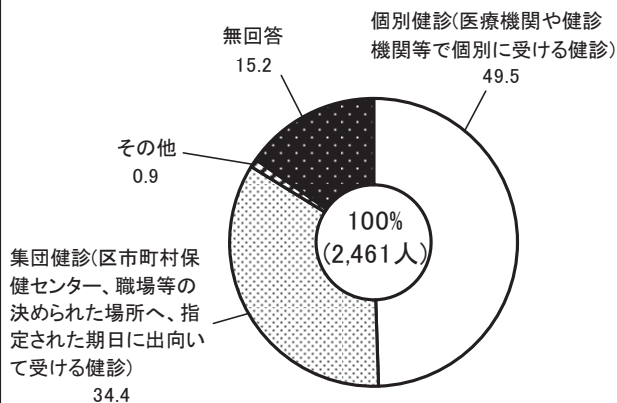
図Ⅱ-4-4 特定健康診査の受診の有無



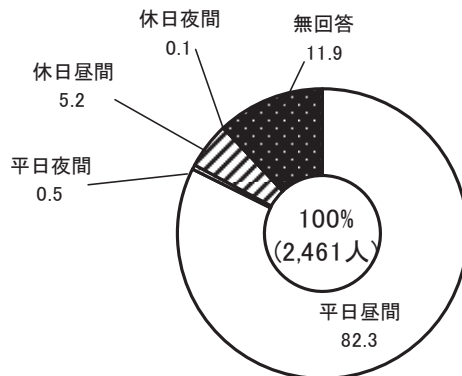
図Ⅱ-4-5 特定健康診査の種類



図Ⅱ-4-6 特定健康診査の方法



図Ⅱ-4-7 特定健康診査を受診した時



(1) 特定健康診査の種類－就業状況別

主に仕事をしている人では、「職場の事業主が実施する健診」を受診した人が約7割

特定健康診査の種類を就業状況別にみると、主に仕事をしている人では、「職場の事業主（又は加入する医療保険者）が実施する健診（医療機関で行う場合も含む）」の割合が70.1%となっている。

働いていない(幼児、高齢、病気等)人では、「区市町村（又は区市町村国保）が実施する健診（医療機関で行う場合も含む）」の割合が72.9%となっている。（表Ⅱ-4-2）

表Ⅱ-4-2 特定健康診査の種類－就業状況別

	総数	も 含 む ※ 1	実 施 す る 村 （ 又 は 区 市 町 村 が 合	行 う 場 合 も 含 む ※ 2	職 場 の 事 業 主 （ 又 は 加 入 す る 医 療 機 関 で	（ 個 人 的 に 受 け る 健 診 ）	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (2,461)	27.6	55.4	8.3	0.3	8.5		
労働力人口	100.0 (1,908)	17.7	66.1	7.5	0.2	8.5		
就業者	100.0 (1,902)	17.6	66.2	7.6	0.2	8.5		
主に仕事	100.0 (1,563)	13.8	<u>70.1</u>	8.0	0.1	8.0		
家事などのかたわらに仕事	100.0 (315)	33.0	50.5	5.7	0.3	10.5		
その他	100.0 (19)	63.2	10.5	5.3	-	21.1		
非労働力人口	100.0 (526)	62.5	18.1	10.6	0.4	8.4		
家事専業	100.0 (218)	48.6	30.3	12.8	0.9	7.3		
働いていない (幼児・高齢・病気等)	100.0 (303)	<u>72.9</u>	8.9	9.2	-	8.9		
平成26年度	100.0 (2,662)	35.5	52.4	8.3	0.8	3.0		

(注1) 就業者のうち、「通学のかたわらに仕事」は母数が5人のため省略した。

(注2) 労働力人口のうち、「仕事を探していた」は母数が6人のため省略した。

(注3) 平成26年度調査では、※1は「区市町村が実施する健診（医療機関で行う場合も含む）」としていた。

(注4) 平成26年度調査では、※2は「職場の事業主が実施する健診（医療機関で行う場合も含む）」としていた。

### 3 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容[複数回答]

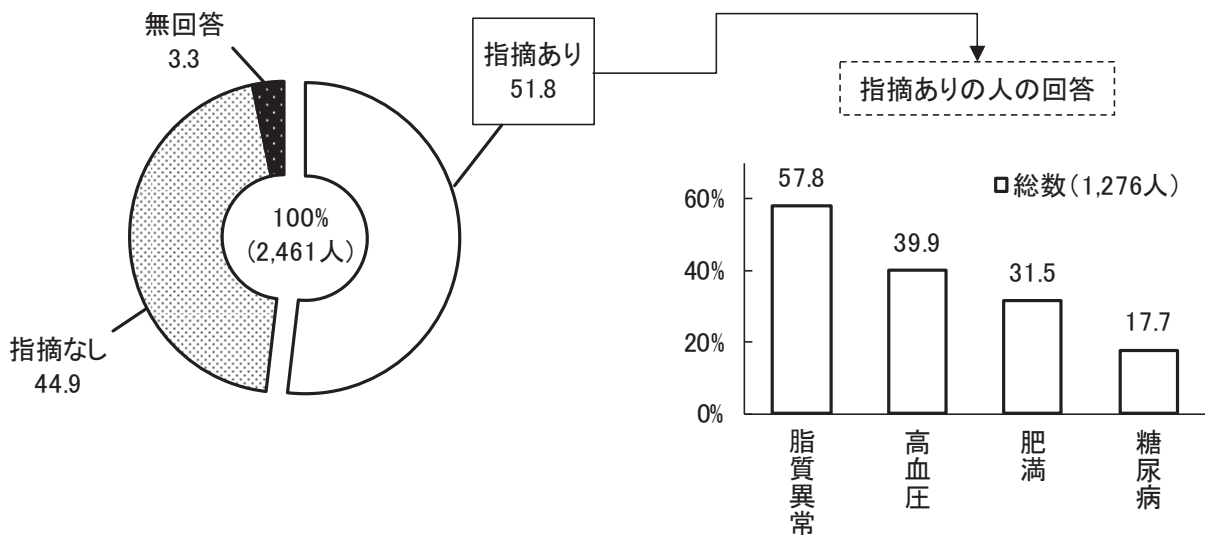
過去1年間に特定健康診査を受けた人(2,461人)に、「肥満」「高血圧」「糖尿病」「脂質異常(注)」のいずれかの指摘を受けたか聞いたところ、「指摘あり」の割合が51.8%、「指摘なし」が44.9%となっている。(図Ⅱ-4-8)

また、「指摘あり」と回答した人(1,276人)の指摘内容を見ると、「脂質異常」の割合が57.8%と最も高く、次いで「高血圧」が39.9%、「肥満」が31.5%となっている。(図Ⅱ-4-9)

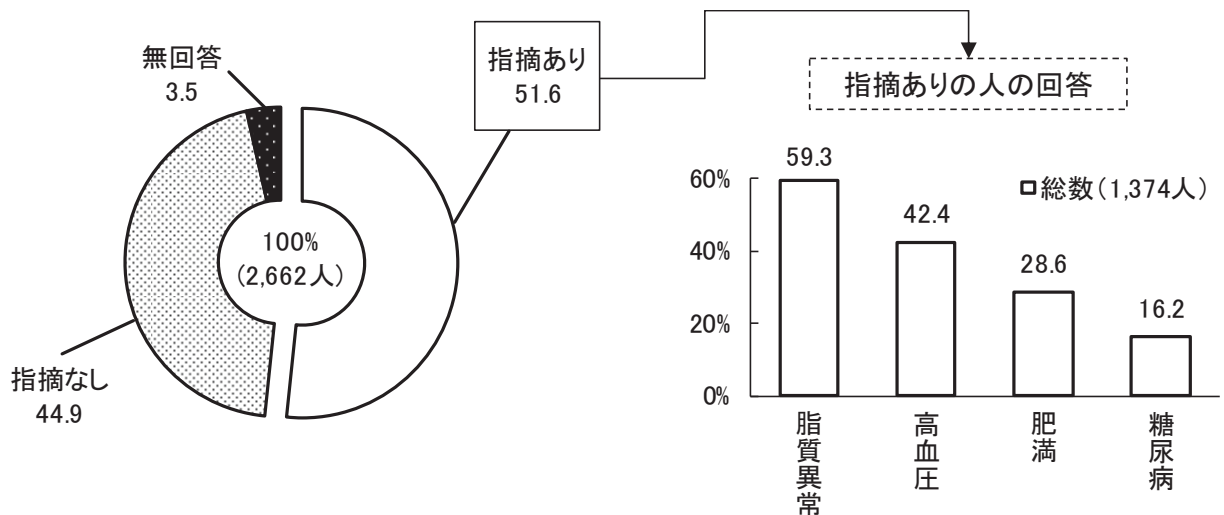
図Ⅱ-4-8 特定健康診査結果の指摘の有無

図Ⅱ-4-9 特定健康診査結果の指摘内容  
[複数回答]

令和元年度



平成26年度



(注) 脂質異常とは次のいずれかを指す。

- ・ 中性脂肪が高い、HDL コレステロールが低い、LDL コレステロールが高い。

(1) 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容[複数回答]—性・年齢階級別

特定健康診査結果の「指摘あり」の割合は、男性の方が女性より16.5ポイント高い

特定健康診査結果の指摘の有無を性別で見ると、「指摘あり」の割合は、男性60.4%、女性43.9%と、男性の方が16.5ポイント高くなっている。

性・年齢階級別にみると、「指摘なし」の割合は、40代女性では69.5%と最も高くなっている。(表Ⅱ-4-3)

表Ⅱ-4-3 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容[複数回答]—性・年齢階級別

	総数	指摘あり	指摘内容				指摘なし	無回答
			肥満	高血圧	(糖尿病 糖値が高い)	脂質異常		
総数	100.0 (2,461)	51.8	16.3	20.7	9.2	30.0	44.9	3.3
男	100.0 (1,184)	<u>60.4</u>	22.0	26.8	13.2	32.4	36.7	3.0
40～49歳	100.0 (380)	49.2	22.4	11.6	6.8	32.4	47.6	3.2
50～59歳	100.0 (353)	62.3	24.1	27.2	11.9	37.1	33.4	4.2
60～69歳	100.0 (303)	66.7	22.8	35.6	17.2	28.7	31.7	1.7
70～74歳	100.0 (148)	71.6	14.2	46.6	24.3	29.1	26.4	2.0
女	100.0 (1,277)	<u>43.9</u>	11.1	15.0	5.5	27.7	52.5	3.6
40～49歳	100.0 (387)	27.9	8.5	5.2	2.3	19.1	<u>69.5</u>	2.6
50～59歳	100.0 (394)	42.9	11.9	14.7	5.1	26.4	54.3	2.8
60～69歳	100.0 (292)	55.8	14.4	20.5	6.8	34.6	38.7	5.5
70～74歳	100.0 (203)	59.6	9.9	26.6	10.3	36.9	36.5	4.4



(2) 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容[複数回答]－健康状態別

健康状態を「よくない」、「あまりよくない」と感じる人では、特定健康診査の結果「指摘あり」の割合が6割を超えている

特定健康診査結果の指摘の有無を健康状態別にみると、健康状態を「あまりよくない」、「よくない」と感じる人では、「指摘あり」の割合が6割を超えている（64.2%、64.3%）。

また、健康状態を「よい」と感じる人では、「指摘なし」の割合が56.7%となっている。（表Ⅱ-4-4）

表Ⅱ-4-4 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容[複数回答]－健康状態別

	総数	指摘あり	指摘内容				指摘なし	無回答
			肥満	高血圧	（糖尿病 糖値が高い）	脂質異常		
総数	100.0 (2,461)	51.8	16.3	20.7	9.2	30.0	44.9	3.3
よい	100.0 (547)	38.4	8.0	13.5	3.5	24.3	<u>56.7</u>	4.9
まあよい	100.0 (1,544)	53.7	16.2	21.8	8.9	30.3	44.0	2.3
あまりよくない	100.0 (313)	<u>64.2</u>	29.7	27.5	18.8	37.4	31.6	4.2
よくない	100.0 (42)	<u>64.3</u>	31.0	23.8	23.8	40.5	28.6	7.1

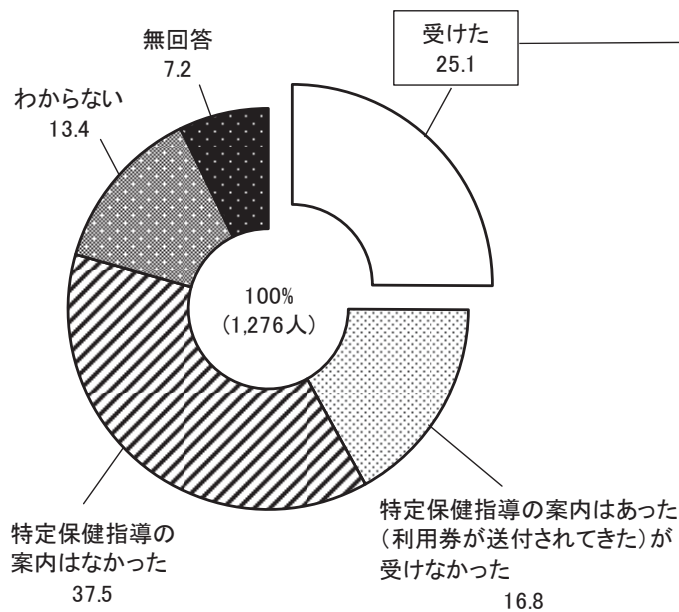
#### 4 特定保健指導の有無と指導の種類、指導内容の実行の程度

特定健康診査の結果、「指摘あり」と回答した人(1,276人)に、特定保健指導(※)を受けたか聞いたところ、「を受けた」の割合が25.1%となっている。一方で、「特定保健指導の案内はなかった」の割合は37.5%、「特定保健指導の案内はあった(利用券が送付されてきた)が受けなかった」は16.8%となっている。(図Ⅱ-4-10)

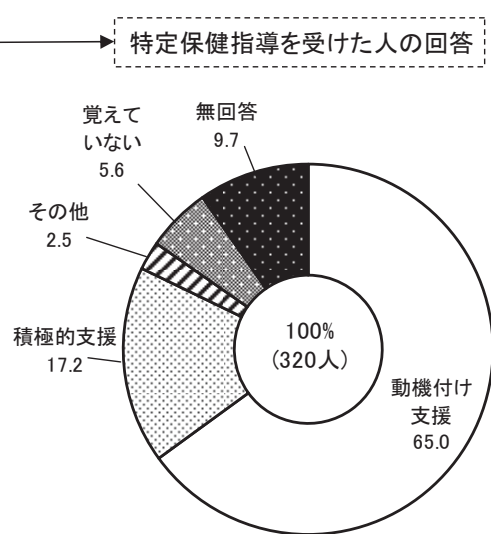
また、特定保健指導を受けた人(320人)に、指導の種類を聞いたところ、「動機付け支援」の割合が65.0%、「積極的支援」が17.2%となっている。(図Ⅱ-4-11)

さらに、特定保健指導で計画した内容をどの程度実行しているか聞いたところ、「おおむね実行している」の割合が43.8%、「一部実行している」が26.6%となっており、これらを合わせた割合は70.3%となっている。(図Ⅱ-4-12)

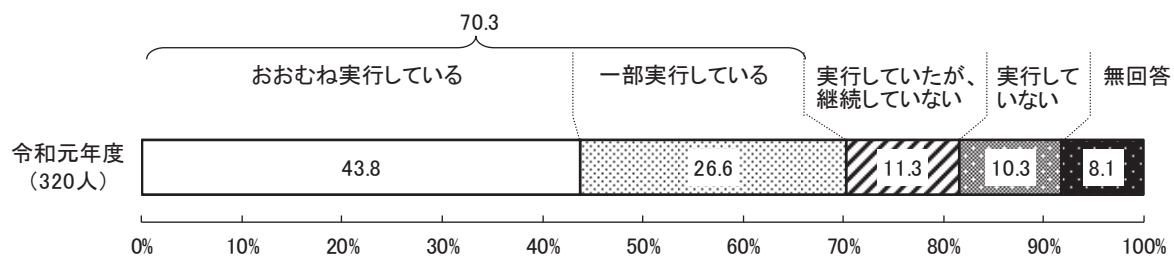
図Ⅱ-4-10 特定保健指導の有無



図Ⅱ-4-11 特定保健指導の種類



図Ⅱ-4-12 指導内容の実行の程度



(注) 回答別比率を合算した比率(70.3%)は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

※ 特定保健指導

<対象者>

腹囲	血糖、脂質、 血圧	喫煙歴	対象		
			40-64歳	65-74歳	
男性85cm以上・ 女性90cm以上の方	2つ以上該当	あり	積極的 支援	動機付け 支援	
	1つ該当				なし
男性85cm未満・ 女性90cm未満の方で、 BMI(体重(kg)/身長(m) <sup>2</sup> ) が25以上の方	3つ該当	あり	積極的 支援	動機付け 支援	
	2つ該当				なし
	1つ該当				なし

<指導の種類>

- ・動機付け支援：原則1回の保健指導を受ける
- ・積極的支援：3~6か月の間、複数回、継続的に保健指導(面接・電話・メールなど)を受ける

(1) 特定保健指導の有無一性・年齢階級別

特定健康診査の結果で指摘があった人のうち、特定保健指導の対象となった割合は、男性 49.2%、女性 32.6%

特定保健指導の有無を性別でみると、特定健康診査の結果で指摘があった人のうち、「特定保健指導を受けた」と「特定保健指導の案内はあった（利用券は送られてきた）が受けなかった」を合わせた特定保健指導の対象となった人の割合は、男性 49.2%、女性 32.6%となっている。（表Ⅱ-4-5）

表Ⅱ-4-5 特定保健指導の有無一性・年齢階級別

	総数	特定保健指導を受けた	受（特定保健指導の案内はあったが） け（利用券が送付された） な（利用券が送付された） かつが	特定保健指導の案内はなかった	わからない	無回答	
総数	100.0 (1,276)	25.1	16.8	41.9	37.5	13.4	7.2
男	100.0 (715)	29.4	19.9	49.2	29.8	14.4	6.6
40～49歳	100.0 (187)	28.9	19.3	48.2	29.4	19.8	2.7
50～59歳	100.0 (220)	29.5	23.6	53.1	30.5	12.7	3.6
60～69歳	100.0 (202)	30.2	17.3	47.5	31.2	13.4	7.9
70～74歳	100.0 (106)	28.3	17.9	46.2	26.4	10.4	17.0
女	100.0 (561)	19.6	13.0	32.6	47.2	12.1	8.0
40～49歳	100.0 (108)	21.3	16.7	38.0	44.4	13.0	4.6
50～59歳	100.0 (169)	16.0	11.2	27.2	50.9	14.2	7.7
60～69歳	100.0 (163)	20.2	12.9	33.1	49.7	10.4	6.7
70～74歳	100.0 (121)	22.3	12.4	34.7	41.3	10.7	13.2
平成26年度	100.0 (1,374)	27.7	12.4	40.0	40.5	13.5	5.9

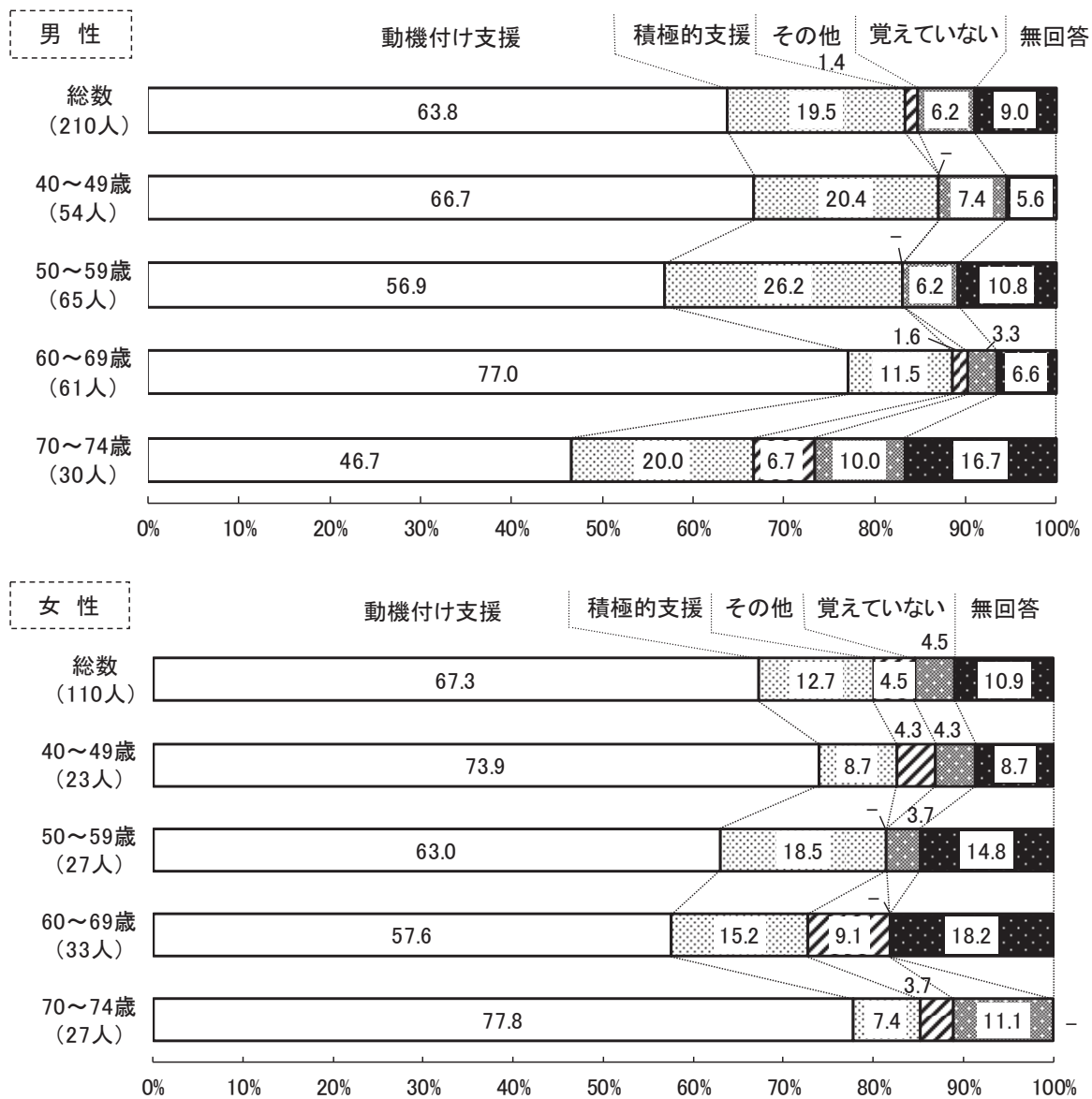
(注) 回答別比率を合算した比率（49.2%、40.0%）は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

(2) 特定保健指導の種類一性・年齢階級別

特定保健指導の種類は、男女とも「動機付け支援」の割合が6割を超えている

特定保健指導の種類を性別でみると、男女とも「動機付け支援」の割合が6割を超えている（男性 63.8%、女性 67.3%）。（図Ⅱ-4-13）

図Ⅱ-4-13 特定保健指導の種類一性・年齢階級別



(注) 「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」(厚生労働省令)では、65歳から74歳の方に対する特定保健指導については、「積極的支援」の対象となった場合でも「動機付け支援」とすることとされているが、本人の回答どおりに集計した。

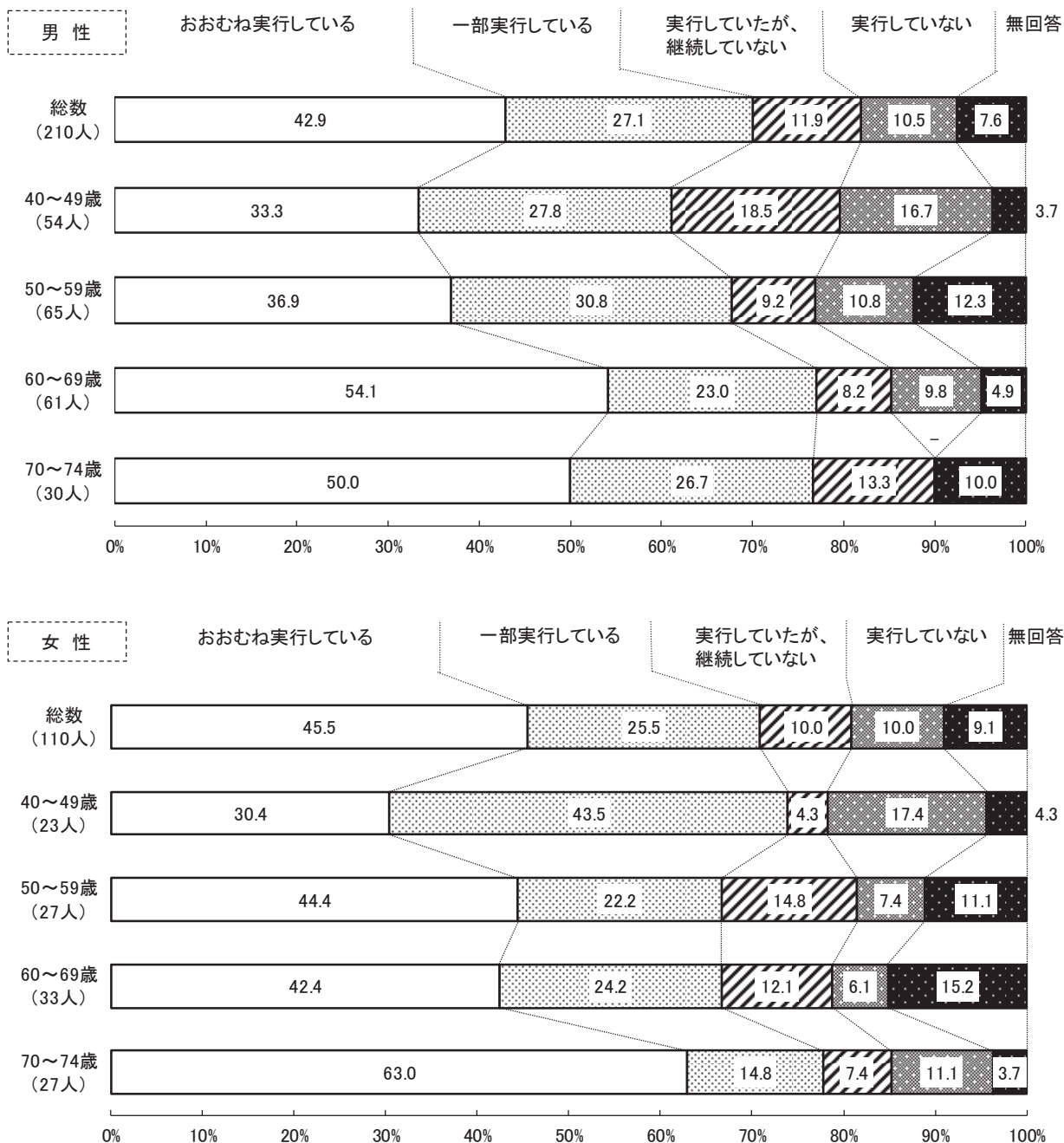
(3) 特定保健指導内容の実行の程度－性・年齢階級別

特定保健指導の内容を「おおむね実行している」割合は、男性 42.9%、女性 45.5%

特定保健指導内容の実行の程度を性別にみると、「おおむね実行している」割合は、男性 42.9%、女性 45.5%となっている。

性・年齢階級別にみると、「おおむね実行している」割合は、60～69歳、70～74歳の男性及び70～74歳の女性では5割以上となっている（50.0%～63.0%）。（図Ⅱ-4-14）

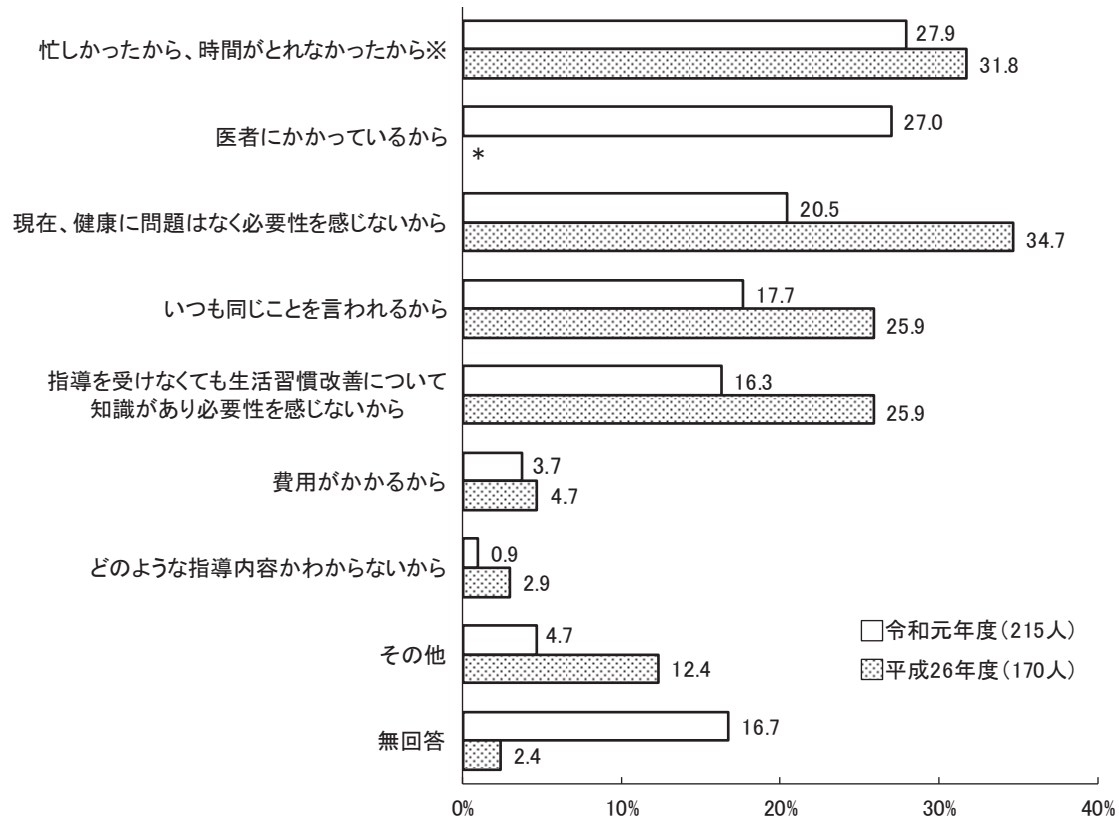
図Ⅱ-4-14 保健指導内容の実行の程度－性・年齢階級別



## 5 特定保健指導を受けなかった理由[複数回答]

特定保健指導を受けなかった人（215人）に、その理由を聞いたところ、「忙しかったから、時間がとれなかったから」の割合が27.9%、「医者にかかっているから」が27.0%となっている。（図Ⅱ-4-15）

図Ⅱ-4-15 特定保健指導を受けなかった理由[複数回答]



(注1) ※は、平成26年度調査では「時間がとれなかったから」としていた。

(注2) \*は、平成26年度調査では選択肢を設けていなかった。

## 6 医療機関受診勧奨の有無と受診の有無

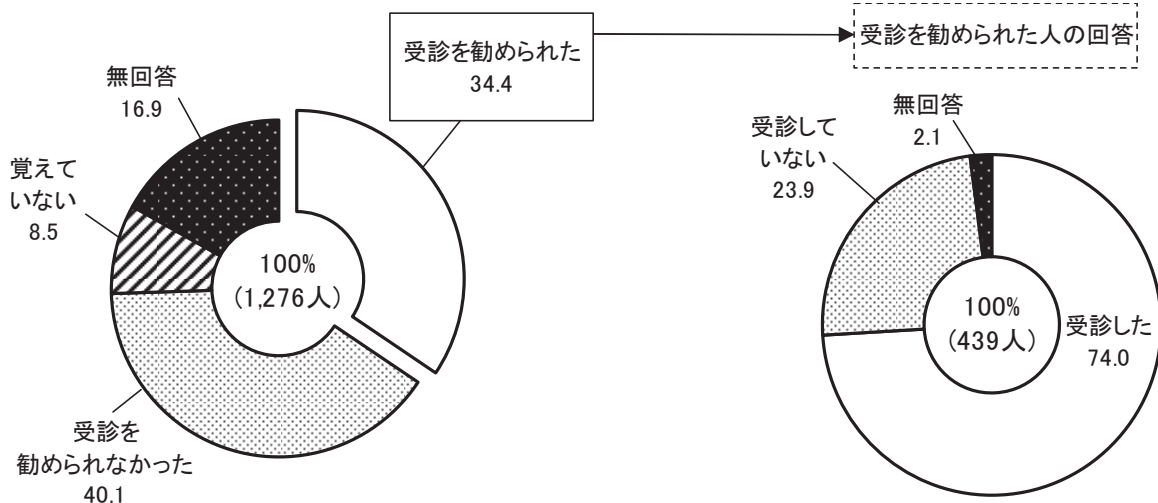
特定健康診査の結果、「指摘あり」と回答した人（1,276人）に、医療機関を受診するよう勧められたか聞いたところ、「受診を勧められた」人の割合は34.4%となっている。（図Ⅱ-4-16）

また、「受診を勧められた」人（439人）に、その後医療機関を受診したか聞いたところ、「受診した」人の割合は74.0%となっている。（図Ⅱ-4-17）

図Ⅱ-4-16 医療機関受診勧奨の有無

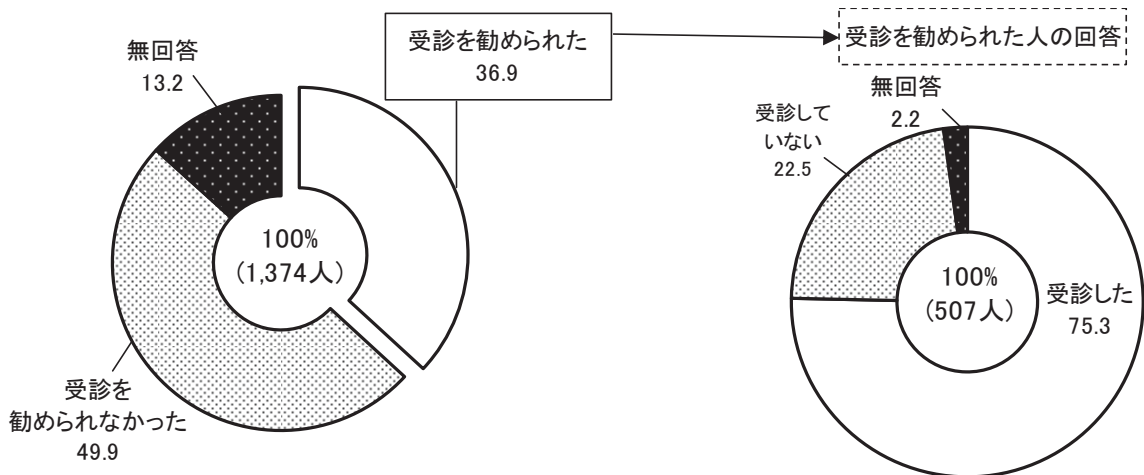
図Ⅱ-4-17 医療機関の受診の有無

### 令和元年度



〔参考〕

### 平成26年度



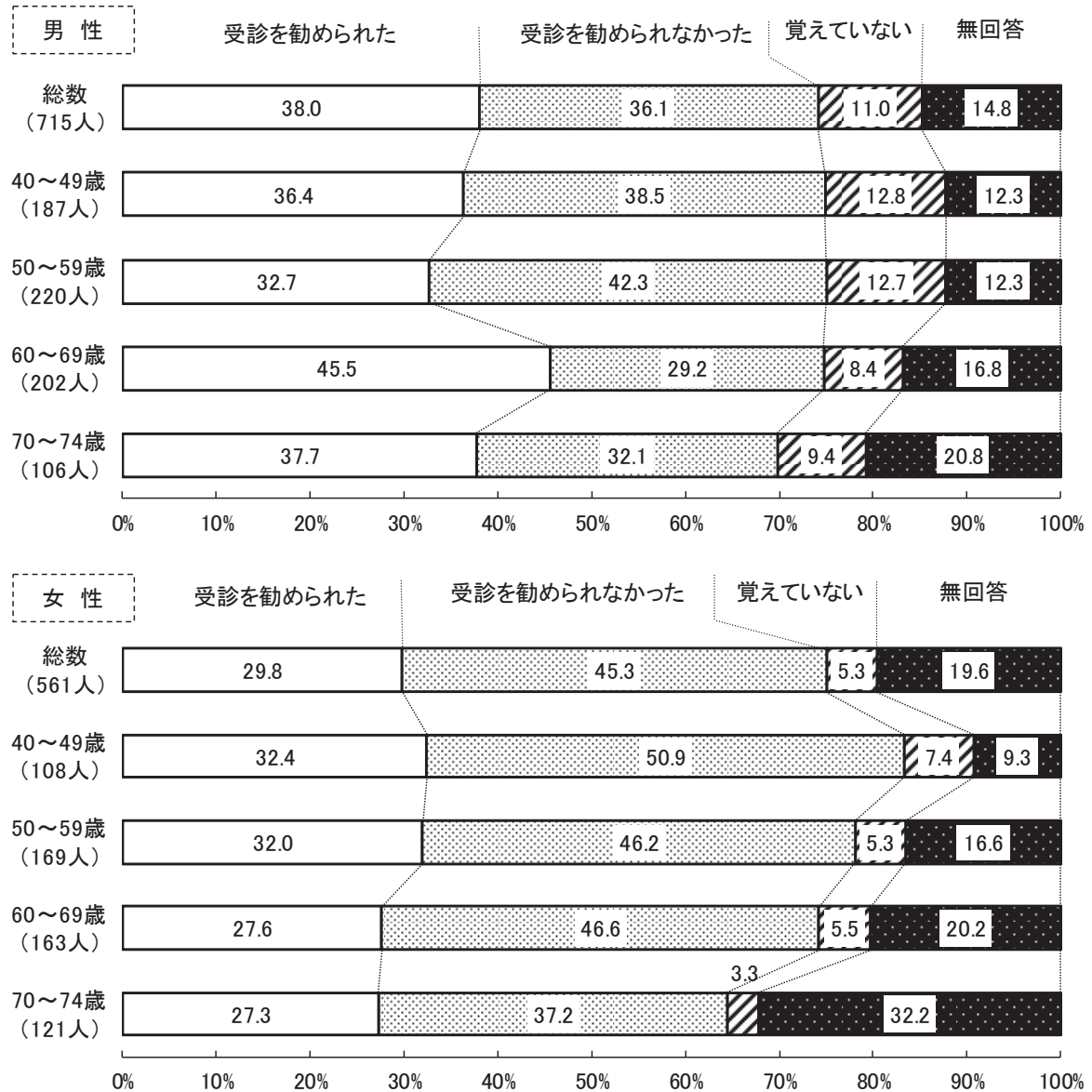
(注) 検査目的の受診は除く。

(1) 医療機関受診勧奨の有無一性・年齢階級別

医療機関の「受診を勧められた」割合は、男性 38.0%、女性 29.8%

医療機関の受診勧奨の有無を性・年齢階級別にみると、特定健康診査の結果で指摘があった人のうち、「受診を勧められた」割合は、男性 38.0%、女性 29.8%となっている。(図Ⅱ-4-18)

図Ⅱ-4-18 医療機関受診勧奨の有無一性・年齢階級別





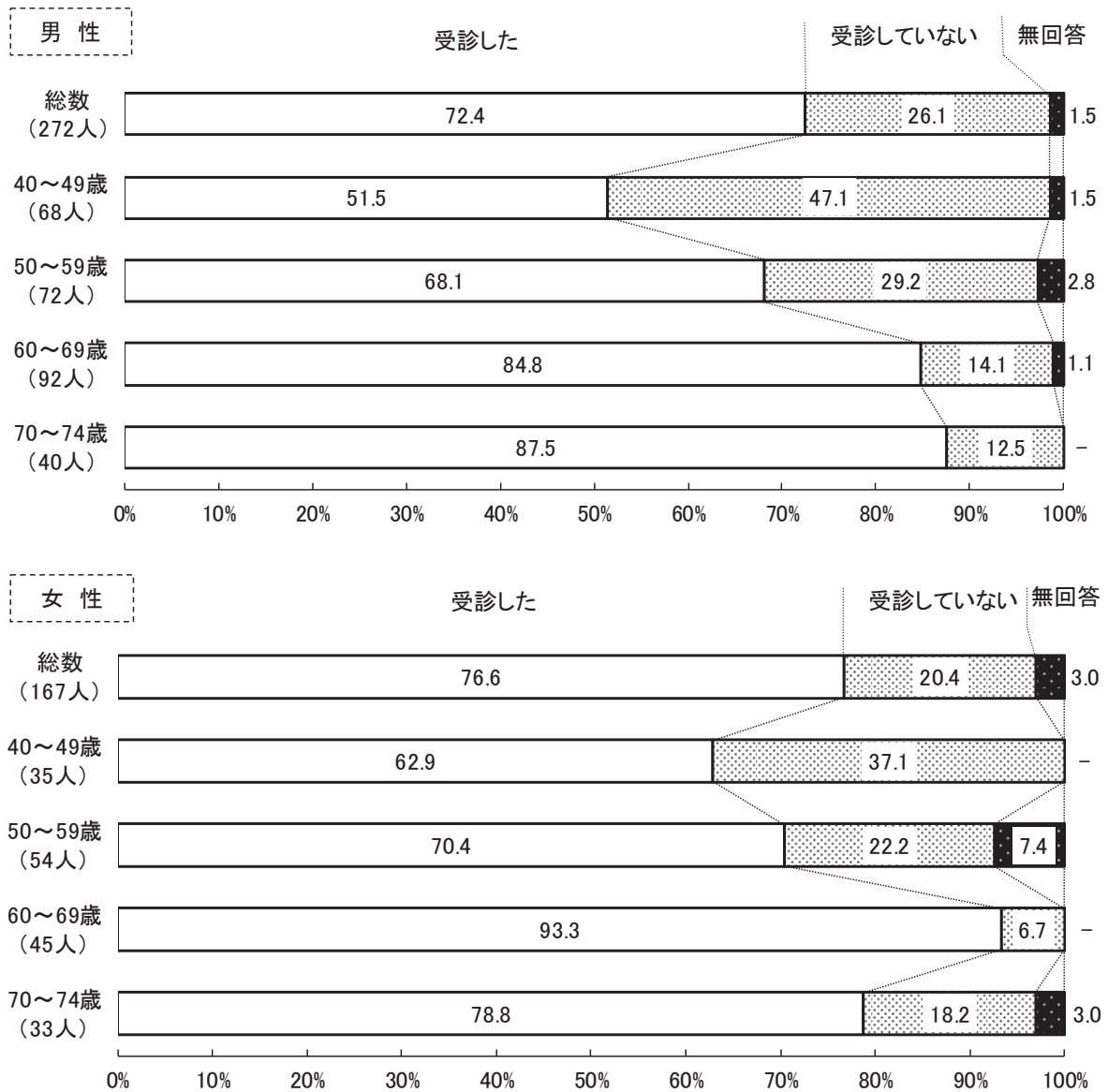
(2) 医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無－性・年齢階級別

医療機関の受診を勧められて実際に受診した人の割合は、男性 72.4%、女性 76.6%

医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無を、性・年齢階級別にみると、「受診した」割合は、男性 72.4%、女性 76.6%となっている。

一方で、「受診していない」割合は、40代男性では 47.1%、40代女性では 37.1%となっている。(図Ⅱ-4-19)

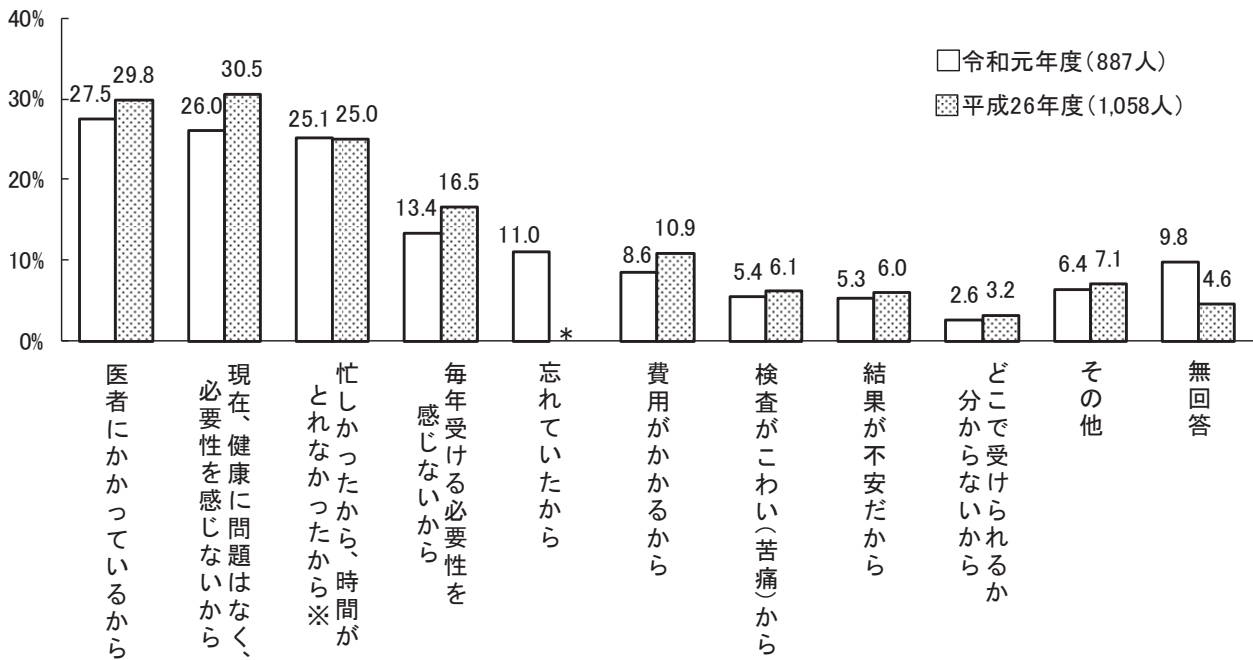
図Ⅱ-4-19 医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無－性・年齢階級別



## 7 特定健康診査を受けなかった理由[複数回答]

過去1年間に特定健康診査を受けなかった人(887人)に、その理由を聞いたところ、「医者にかかっているから」の割合が27.5%、「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」が26.0%、「忙しかったから、時間がとれなかったから」が25.1%となっている。(図Ⅱ-4-20)

図Ⅱ-4-20 特定健康診査を受けなかった理由[複数回答]



(注1) ※は、平成26年度調査では「時間がとれなかったから」としていた。

(注2) \*は、平成26年度調査では選択肢を設けていなかった。

(1) 特定健康診査を受けなかった理由[複数回答]—性・年齢階級別

特定健康診査を受けなかった理由は、「医者にかかっているから」の割合が、男女とも 70～74 歳では 4 割を超えている

特定健康診査を受けなかった理由を性・年齢階級別にみると、「医者にかかっているから」の割合は、男女とも 70～74 歳では 4 割を超えている (47.6%、40.3%)。(表Ⅱ-4-6)

表Ⅱ-4-6 特定健康診査を受けなかった理由[複数回答]—性・年齢階級別

	総数	現在、健康に問題はないから	毎年受ける必要性を感じないから	医者にかかっているから	どこで受けられるか分からないから	検査がこわい(苦痛)から	忙しいかつたから、時間がとれなかつたから	結果が不安だから	費用がかかるから	忘れていたから	その他	無回答
総数	100.0 (887)	26.0	13.4	27.5	2.6	5.4	25.1	5.3	8.6	11.0	6.4	9.8
男	100.0 (379)	30.1	14.2	28.8	3.2	3.2	22.4	3.2	8.2	9.5	5.3	10.0
40～49歳	100.0 (93)	35.5	11.8	9.7	4.3	4.3	38.7	3.2	11.8	18.3	5.4	8.6
50～59歳	100.0 (102)	25.5	15.7	21.6	2.9	2.0	32.4	2.9	4.9	9.8	6.9	10.8
60～69歳	100.0 (121)	26.4	14.9	39.7	2.5	4.1	8.3	4.1	8.3	3.3	5.0	9.9
70～74歳	100.0 (63)	36.5	14.3	<u>47.6</u>	3.2	1.6	9.5	1.6	7.9	7.9	3.2	11.1
女	100.0 (508)	23.0	12.8	26.6	2.2	7.1	27.2	6.9	8.9	12.2	7.3	9.6
40～49歳	100.0 (167)	19.8	9.6	15.0	3.0	7.2	36.5	4.8	8.4	15.6	9.0	10.8
50～59歳	100.0 (127)	18.9	11.8	25.2	1.6	8.7	36.2	10.2	12.6	15.0	7.9	5.5
60～69歳	100.0 (142)	25.4	19.0	34.5	-	7.7	16.2	5.6	7.7	7.7	5.6	12.0
70～74歳	100.0 (72)	33.3	9.7	<u>40.3</u>	5.6	2.8	11.1	8.3	5.6	8.3	5.6	9.7

